

地域の経済動向(令和5年10-12月期) 《釧路・根室地域》

1 経済動向に係る企業等の声(10~12月期)

【製造業】

- ・ ロシア情勢の影響で安全操業が出来ないため、それが水揚げに影響しており、ホッケの価格は以前の倍くらいにまでなっている。昆布の注文は1~2割減で、中国の禁輸の影響もあるのではないかと思う。(水産加工業)
- ・ ホタテは例年であれば10月までに在庫はスムーズに出荷できるが、今期は保管期間が長くなり、保管に要する電気代等のコストが例年より嵩んでいる。今後各事業者が抱えている中国向けの在庫が国内で流通することで、価格が下がり、売上も下がることが予測される。(水産加工業)
- ・ サケやカレイ、スケトウタラ、キンキなどの魚を輸出業者に卸しているが、今のところALPS処理水放出の直接的な影響はないものの、各業者の在庫が飽和状態となっているため、今後、価格下落の懸念がある。(水産加工業)
- ・ 鮭は今期は前年比80%の不漁にもかかわらず、去年の在庫等の影響で価格が下がっている。(水産加工業)
- ・ 今後もALPS処理水に起因する損害は発生すると思われる。電気代や資材代も上がっており、事業を継続していけるかどうか不安。機械の老朽化も進んでおり、買い換え資金が準備できるか心配。(水産加工業)
- ・ ALPS処理水放出の影響で、中国へ出荷予定であった製品が出荷出来なくなり、現在も輸出用の製品は止まっている。(水産加工業)
- ・ 人手不足が一番の課題となっており、それを補うために設備投資でカバーしていかなければならないが、今対応している魚種や新しい魚種も今後も継続して獲れるとは限らず、販路確保の問題もあり、新たな投資に踏み切ることが難しい。(水産加工業)
- ・ とにかく人手が足りない。外国人技能実習生だけでは工場は稼働できないので、どうしても日本人の働き手が必要だが、従業員は高齢化が進み、人手不足が原因で倒産にもなりかねない状況。(水産加工業)



【運輸業】

- ・ 運転手希望の高校生は、採用してから免許取得をサポートする。(道路旅客運送業)
- ・ 普通免許取得後に3年経った人材を採用条件としているため、高校新卒は採用していない。地方からIターンで来る人材もいるが、中には、単身赴任をいやがり結局、辞めてしまうこともある。(道路旅客運送業)
- ・ 人手不足に対応するため、定年を65歳まで引き上げ、70歳まで再雇用する仕組みを作った。また、その間も労働組合に入れるようにしている。(道路旅客運送業)
- ・ 物流の2024年問題の関係で運転手と路線の確保を要するので、荷主と値上げ交渉がしやすい状況にあると聞いている。(金融関係)









【サービス業】

















- ・ 宿泊客数はコロナ前の水準に戻っている。現在は観光シーズンではないため、ビジネス客の利用が多い傾向。外国人観光客は週に2~3組程度宿泊しており、台湾や香港からの宿泊客が多い。宴会はコロナ禍前には戻っていない。(宿泊業)
- ・ 11月までは全国旅行支援のおかげで、昨年同期比で1割程度売上が増えていた。12月は全国旅行支援がなくなっただけの最初の月となり、昨年同期比15%ほど落ち込んでいる。(宿泊業)
- ・ 11月以降は、製薬会社や漁連関係等のビジネス客が中心となっており、客室は、平日はほぼ埋まっているが、土日は空室が見られる。(宿泊業)
- ・ 人手不足の状況は相変わらず深刻で、フロア係も足りないため、夜の食事提供は現在行っていない。(宿泊業)
- ・ 人手不足のほか、人件費や材料費価格も上昇していることから、忘年会や新年会等の宴会は採算が取れないため、現在行っていない。(宿泊業)
- ・ 旅館業は人手が必要な業種なので、今後継続していくには人手確保に不安がある。冬季の閑散期にどう対応するかも大きな課題。(宿泊業)
- ・ 外国人大学生が日本実習などで来ており、日本語を勉強してきているので日本語対応もできており、人手の心配はない(宿泊業)

2 道内金融機関から見た地域景況感(10-12月期)

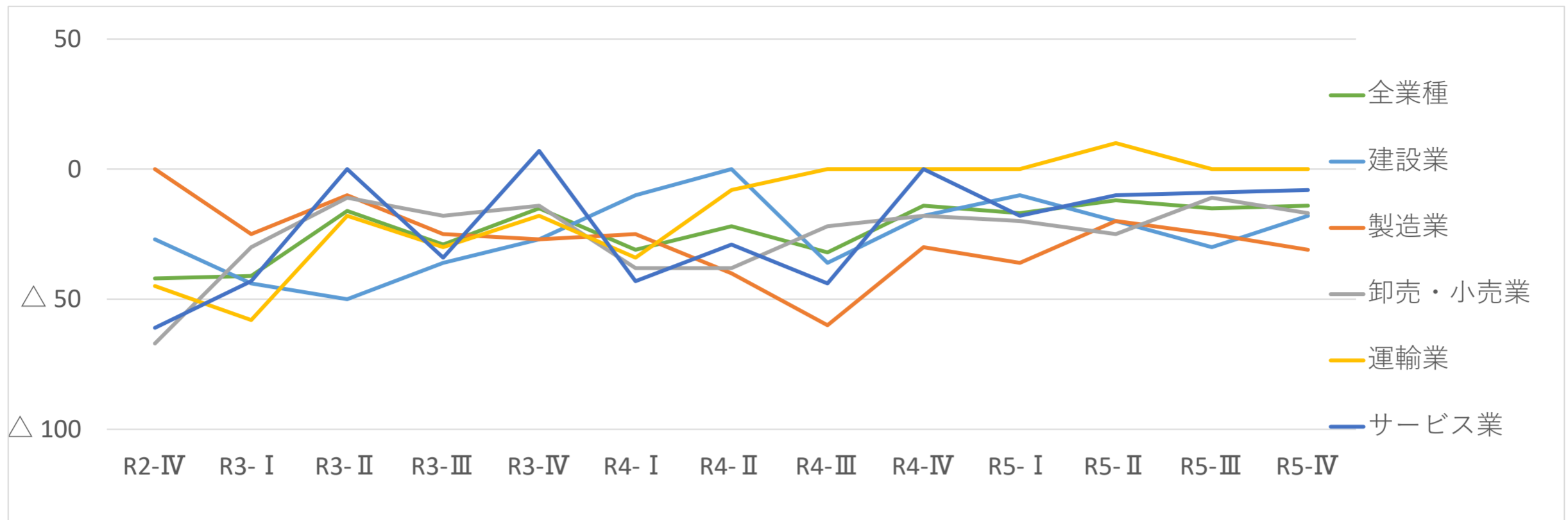
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
釧路信用金庫				全体として持ち直しの動きが続いているが、人手不足の影響で営業時間・日数を削減する等の事業者もみられた。また、価格転嫁が進んでいない事業者も依然としていることから、持ち直しの動きはみられるものの、前期同様「普通」と判断した。		当面は人手不足の影響や物価高騰の影響が続くことが予想されることから「変わらない」と判断している。
大地みらい信用金庫				新型コロナウイルス感染症の5類移行後は観光客の入込回復、行動自粛の緩和により消費回復につながっているが、物価高騰のなかで実質的賃金が変わっておらず消費動向について好調とは言い難い。 また当地域は1次産業主体であり、生産者においては漁業も酪農も厳しい経営環境が継続。ALPS処理水の海洋放出に伴う風評被害、酪農では資材や飼料価格の高騰により深刻な影響が出ている。 総合的には消費動向の回復よりも、生産動向の落ち込みが上回るため「やや低調」と判断した。		生産動向がしばらく厳しい状況となる見通しから、今期の景況感と「変わらない」と判断した。

	R4- I	R4- II	R4- III	R4- IV	R5- I	R5- II	R5- III	R5- IV
釧路信用金庫								
大地みらい信用金庫								

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III	R5-IV
全業種	△ 42	△ 41	△ 16	△ 29	△ 15	△ 31	△ 22	△ 32	△ 14	△ 17	△ 12	△ 15	△ 14
建設業	△ 27	△ 44	△ 50	△ 36	△ 27	△ 10	0	△ 36	△ 18	△ 10	△ 20	△ 30	△ 18
製造業	0	△ 25	△ 10	△ 25	△ 27	△ 25	△ 40	△ 60	△ 30	△ 36	△ 20	△ 25	△ 31
卸売・小売業	△ 67	△ 30	△ 11	△ 18	△ 14	△ 38	△ 38	△ 22	△ 18	△ 20	△ 25	△ 11	△ 17
運輸業	△ 45	△ 58	△ 18	△ 30	△ 18	△ 34	△ 8	0	0	0	10	0	0
サービス業	△ 61	△ 43	0	△ 34	7	△ 43	△ 29	△ 44	0	△ 18	△ 10	△ 9	△ 8

4 各種経済指標

